

海外安全対策情報第1四半期

トリニダード・トバゴ

1. 社会・治安情勢

3月にラマダーシン国民・社会開発大臣が更迭され、シャーマ観光大臣が辞任したものの、国民生活に影響するような大きな混乱は発生しなかった。一方、元日から複数の殺人事件が発生、その後も1日1件以上のペースで発生しており、一部地域の治安が悪化している。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 警察当局からの犯罪発生件数報告によれば、第1四半期（1月～3月）の犯罪発生総件数は2,409件と前期（10月～12月）と比較して約12.6%の減少となっている。

犯罪種別の内訳は以下のとおり。

一般窃盗	: 471件 (前期比 2.1%増)
住居窃盗	: 71件 (同 17.4%減)
殺人	: 112件 (同 5.1%減)
強盗	: 548件 (同 15.3%減)
性犯罪	: 126件 (同 31.2%増)
誘拐	: 30件 (同 3.4%増)

(2) 邦人被害事案

カーニバル期間中、音楽イベントを観覧していた邦人がスリ被害に遭った。

3. テロ・爆弾事件発生状況

当該情報には接していない。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

第1四半期には30件の誘拐事件が発生したが、大半はギャング間の抗争や麻薬取引に関する事案である。身代金目的の誘拐事件の発生は1件であった。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

当地日本企業の安全に関わる問題は把握されていない。